

平成31年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 道徳（1/1枚目）

調査の観点	発行者名	東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書出版	日本文教出版	学研教育みらい	廣済堂あかつき	日本教科書
1 内容 (1) 学習指導要領各学年の目標及び内容の押さえ方 (2) 発達段階への配慮 (3) 各学年の「内容」の取扱い (4) 関心・意欲を引き出す工夫		(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。いじめなど現代的な課題への対応が充実している。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。小学校との接続に工夫がなされている。 (3) 全学年にわたり、「生命の尊さ」や「自主、自律、自由と責任」「勤労」についての内容項目が充実している。いじめ問題と生命尊重についてユニット教材が3学年分用意されている。 (4) 各学年に漫画形式の教材を用意している。「ACTION!」というページで生徒が考え実際に行動する場面を意図的に作っている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。防災や国際理解等、現代的な課題への対応が多彩である。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり、「勤労」や「国際理解・国際貢献」についての内容項目が充実している。「心の扉」という内容項目を解説するページが各学年にある。 (4) 各学年に漫画形式の教材を用意している。グループエンカウンター的手法を取り入れている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。現代的な課題への対応が充実している。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり、「郷土の伝統と文化の尊重」や「生命の尊さ」の内容項目が充実している。1・2学年で「思いやり、感謝」を、2学年で「国際理解、国際貢献」を、2・3学年で「社会参画、公共の精神」を重視している。 (4) 教材に、中心発問が書いてあり、生徒が考えながら教材を読むことができる。「やってみよう」というページを設定し、問題解決的な学習や体験的な学習など、多様な学習方法を取り入れている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。現代的な課題への対応が充実している。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。小学校との接続に工夫がなされている。 (3) 全学年にわたり、「生命の尊さ」についての内容項目が充実している。1学年では「思いやり、感謝」を、3学年では「自主、自律、自由と責任」や「よりよく生きる喜び」を重視している。 (4) 各学年に漫画形式の教材を用意している。グループエンカウンター的手法も取り入れている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。現代的な課題への対応が充実している。 (2) キャリア教育の理念を中心に、中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり、「生命の尊さ」や「国際理解、国際貢献」についての内容項目が充実している。1・2学年で「友情、信頼」を重視している。 (4) 読み物教材だけでなく、コラムでも様々な人物を取り上げている。学年のテーマを設定し、発展的な学習が進められるようにしている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。SNSなど現代的な課題への対応が充実している。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり、「生命の尊さ」についての内容項目が充実している。1学年で「友情、信頼」を、3学年で「思いやり、感謝」や「国際理解、国際貢献」を重視している。 (4) 内容の短い作品が多く、イラストによりストーリー展開があり、読みやすい。偉人やアスリートの生き方に学ぶ内容の教材が多い。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。現代的な課題への対応が充実している。 (2) 中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり、「自主、自律、自由と責任」や「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」についての内容項目が充実している。内容項目ごとの配当時数がどの学年も同じである。 (4) 主題名を教材に記さないことで、生徒が主体的に道徳的価値に向き合うよう工夫されている。	(1) 学習指導要領の目標や内容を適切に押さえている。現代的な課題への対応が充実している。 (2) 「生き方」をテーマとして、中学生の発達段階についての配慮が適切になされている。 (3) 全学年にわたり「友情、信頼」、1学年で「遵法精神、公德心」や「公正、公平、社会正義」、2学年で「相互理解、寛容」、2・3学年で「よりよく生きる喜び」、3学年で「生命の尊さ」についての内容項目が充実している。 (4) スポーツ関連の人物を題材とした教材を多く扱っている。「私の道徳」というページがあり、生徒が興味を抱けるように工夫されている。
2 構成上の工夫 (1) 教材配列、巻頭・巻末の扱い (2) 分量 (3) 表現、記述の仕方 (4) 写真、挿絵、図版等 「二通の手紙」の挿絵 (5) 学習の振り返り (6) 印刷、装丁		(1) いじめ防止と生命尊重についてユニット教材として集中的に考えられるよう配慮している。巻末の「自分の学びをふり返ろう」には切り取り用紙が付いている。学期ごとに提出できるようにしている。「心情円」やホワイトボードが巻末に付いている。 (2) 38時間分の教材と付録が付いているため、学校の実態に合わせて柔軟に指導できる。 (3) 全教材に一言「つぶやき」を記すスペースを設定している。 (4) 各学年、漫画教材等で分かりやすいように配慮されている。大きい写真が多い。 (5) 生徒が学期ごとに道徳科の学習を振り返り、自己評価等を記入する切り取り式のページを設定している。 (6) AB判で大きく、読みやすい。	(1) 内容項目が学期毎にバランス良く振り分けられている。1学年では学校、2学年では地域、3学年では日本や世界へとステップアップするようになっている。 (2) ちょうど35時間分の教材が置かれており、統一された指導が期待できる。 (3) 文字が大きく読みやすい書体が使われている。 (4) 絵や写真が多く使われている。 (5) 「学びの記録」というページがあり、学期ごと、1年間ごとの振り返りができる。 (6) AB判で大きく、読みやすい。	(1) 巻頭に「生命の尊さを考える」等のテーマ別に教材をまとめて示した一覧を掲載している。巻末に生徒がなりたい自分を記入し、教員や家庭からのメッセージを書けるようになっている。巻末に「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」を掲載している。 (2) ちょうど35時間分の教材が置かれており、統一された指導が期待できる。 (3) 1年の前半の教材本文は、他の教材より大きい文字を使用し、読みやすくしている。 (4) 漫画、写真、グラフ、地図等、多様な教材が用いられている。 (5) 生徒が教材ごとに自己評価等を記入するページを設けている。学年の終わりに1年間の記録と次の年の目標等を記入できるようになっている。 (6) B5判で中学生が手に持ちやすく扱いやすい。	(1) 各学年、生徒の成長を考慮して4つの「シーズン」に分けて構成しており、1年間の学校生活の流れを意識して構成されている。深く考えることができるような「コラム」を数多く配置している。各学年、巻頭に詩が掲載されている。 (2) 36時間分の教材を掲載している。読み物教材の文章量が充実している。 (3) 中学校以上で習う漢字にふりがなを付け、読みの負担を軽減させている。 (4) 絵や写真が多く使われている。 (5) 各教材に「学びのテーマ」があり、1時間の振り返りができる。巻末に4つのシーズンごとに生徒が学習の振り返りを記入するページを設定している。 (6) B5判で中学生が手に持ちやすく扱いやすい。	(1) 別冊の「道徳ノート」が付いている。より深く考えることができるよう「プラットホーム」というコラムのページを配置している。巻頭に道徳について学ぶべき内容が書かれており、導入の工夫がされている。 (2) ちょうど35時間分の教材が置かれており、統一された指導が期待できる。 (3) 中学校以上で習う漢字にふりがなを付け、読みの負担を軽減させている。 (4) 生き生きと学習に取り組む生徒の姿を多数、写真資料として使用している。 (5) 別冊の「道徳ノート」に生徒が教材ごとに学習を振り返り、自己評価を記入する欄を設定している。 (6) B5判で中学生が手に持ちやすく扱いやすい。	(1) 学年の始まりに「マイプロフィール」で目標を掲げるようになっている。スポーツと地球・地域について発展的に学習するユニット教材が3学年分用意されている。 (2) ちょうど35時間分の教材が置かれており、統一された指導が期待できる。 (3) 大きい活字を使用している。教科書に直接書き込みができるようになっている。 (4) 全体的に余白が多くあり、読みやすくなっている。 (5) 巻末に生徒が1年間の学習を振り返り、友達や自分に「贈りたい言葉」等を記入するページを設定している。 (6) A4判で絵や写真が大きい。	(1) 本冊と別冊で構成することで、指導者が多様な指導方法を取り入れた授業を展開できるように工夫されている。「thinking」というページを各学年3ページ配置している。 (2) ちょうど35時間分の教材が置かれており、統一された指導が期待できる。「道徳ノート」もあり授業を行うには十分な分量がある。 (3) 第1学年の文字サイズが第2学年、第3学年に比べ大きい。 (4) 絵や写真が多く使われている。 (5) 別冊の巻末に「心に残っている授業の記録」等を記入するページを設けている。各教材及び内容項目ごとに自己評価を記入するページを設定している。 (6) AB判で大きく、読みやすい。	(1) 学習指導要領の内容順に教材を配置している。より深く考えることができるよう「込められた思い」等のコラムのページを配置している。 (2) 37時間分の教材があり、配当時間の授業を行うには十分な数の教材となっている。 (3) 3学年にわたって同じ人物を登場させ、話に連続性をもたせた教材を掲載している。 (4) 内容のイメージがしやすいように、写真や図、グラフが盛り込まれている。 (5) 巻末に生徒が1年間の学習を振り返り、自己評価を記入するページを設定している。 (6) B5判で中学生が手に持ちやすく扱いやすい。
3 重点調査項目 (1) 八王子市及び地域性への配慮 (2) いじめ防止等人権課題の取扱い		(1) 家族や地域・日本に関する題材を取り上げ、家族や地域社会の一員としての役割と責任の自覚を深められるようにしている。 (2) 「いじめ問題」を全学年で重要項目としている。「いじめのない世界へ」では、問題を投げかけ生徒が主体的に考えられるよう工夫されている。	(1) 『桑の都』という教材が3年生にあり、八王子市を題材にしている。「遵法精神・公德心」については、地域で起こりやすい事例をあげ、地域や家庭ですぐに実践できる内容になっている。 (2) いじめ・人権課題は、情報モラルなどの現代的な課題が取り入れられている。	(1) 八王子市にゆかりのある肥沼信次博士を題材にしている教材がある。地域・日本の文化・伝統・歴史にふれ、地域から世界に広がる教材が各学年にある。 (2) 「いじめや差別のない社会へ」では、生徒がいじめ問題・情報モラル・生命尊重を相互的な視点から考えられるように工夫されている。	(1) 地域・日本の環境に関する題材を教材として採用している。「学びの広場」には日本各地の伝統・文化、世界遺産、各地の偉人などが紹介されている。 (2) いじめの問題は、各学年8つ以上の題材があり、状況に応じた取り組みができるようにしてある。	(1) 地域教材の活用・開発に配慮し、教材の選定がされている。記述できるノートが別冊としてついており、家庭生活での振り返りに使える。 (2) いじめの問題は、各学年5つ以上の題材があり、状況に応じた取り組みができるようにしてある。	(1) 「地球と地域の未来のために」では、地域貢献から世界貢献につながる題材が各学年にある。 (2) 情報モラルといじめの問題では、事例やデータを数値化して載せ、生徒に課題解決策を考えさせる工夫がされている。	(1) 別冊に地域の人々や身近な人たちに聞いたことを書き込むページを設けている。 (2) いじめ問題について各学年4～5の教材があり、状況に応じた取り組みができるようにしてある。	(1) 日本各地の文化・伝統・歴史にふれる教材が各学年にある。 (2) 生徒がいじめ問題・生命尊重を考えられるように工夫されている。